



誠実 慧眼 名行司

けいがん

詞 下家義久

ハーエー
さばきも颯爽 確たる团扇 ヨー
アーブル 潮洗う鹿児島の
かつおで名高い枕崎

山崎敏廣少年が
所属も名門井筒部屋

を目指した伝統相撲界

「さばきの極意は 負けを見て
勝ちに上げよ」と教え受け

厳しい修行の明け暮れは
苦節二十年 新十両

ここぞ一番 勝負どき

腰を沈めて見極める

土俵姿のかっこよさ
誠実 真面目さ 認められ

番付製作 担当し

天下の名筆 うたわれつ

のぼって このたび 立行司

敏廣 與之吉 勘太夫
ご恩を受けた皆様に
ここに感謝の土俵入り

新たな伊之助 精進を
どうぞご支援 精進を

アーブル 願います ヨー

枕崎

山崎敏廣さん式守伊之助を襲名

両国国技館で盛大に <関連記事10>



山崎さん(右から2番目)のさらなる活躍を願い、小湊香一さん(枕崎後援会幹事長)の音頭による三本締め。